



エスコープ大阪機関紙

C o n t e n t s

表紙

・作り手と食べ手が共に作る
『旬菜セット』

P2

・持続可能な農業を
地元生産者とめざします

P3

・活動報告「GMOフリーゾーン運動全国交
流集会 in 東京」参加報告／消費コミュニ
ティ（カット野菜工場見学）／味噌づくり
・「おおぜいの私」がつくるエスコープ大阪

P4

・次世代生産者紹介「南王陽堂農園」
・理事会報告
・おたよりネット ・編集後記

作り手と食べ手が共に作る 『旬菜セット』

エスコープ大阪を含む生活クラブ※関西6生協では、持続可能な生産と消費に向けて、2017年から「温州みかん」、そして今年度からは「りんご」も、生産者や栽培基準を統一して取り組みます。現在それぞれの生協で取り組んでいるセット野菜についても、今後統一する関西青果政策を掲げています。

今回は、エスコープ大阪自慢の地場野菜の取り組みである『旬菜セット』の生産者、「菜食ファーム」代表の今野正章さんに、次世代の生産者と今後関西6生協で統一するセット野菜に向けたこれからについて、お話を伺いました。

※関西 6 生協：エスコープ大阪、生活クラブ大阪、生活クラブ都市生活、生活クラブ滋賀、生活クラブ京都エル・コープ、生活クラブ奈良

（聞き手：消費担当常務理事 山路 登葉）



菜食ファーム 代表（堺市堺区）

今野 正章さん

次世代につなぐ取り組み

山路 菜食ファームには、ここ数年で新しい生産者が加わっていますね。

今野 私の息子も含め、菜食ファーム生産者の子どもが4名就農しています。また生産者の子どもだけでなく、自分で農業を始めて菜食ファームに仲間入りした若手生産者もがんばっています。

山路 さまざまな業種で人手不足が問題となっていますが、第一次産業における担い手不足は深刻です。菜食ファームでは、地場野菜を次世代につなぐために取り組んでいることはありますか。

今野 私もかつて所属していた「堺4Hクラブ」とのつながりを今も大切にしています。おおむね30歳までの生産者が集まり、親世代の農業とは違った角度で農業に関する勉強や情報交換などを行っている団体です。私は40歳で退会しましたが、その頃の仲間とのつながりが今もありその紹介で、今後も若手生産者を菜食ファームに引き入れていくつもりです。

情報発信できる生産者を 目指します！

山路 エスコープ大阪では、昨年度組合員活動を「活動の担い手づくり」に集中させ、次の世代を作る大切さと難しさを理解しました。菜食ファームでは次世代生産者を巻き込んでいくために他にどんなことをされていますか。

今野 農家も畑から情報発信できるようにしたいと考え、菜食ファームのインスタグラムを今年度中に始めます。若手生産者には、「売り込む力」が大切と伝えています。インスタグラムをひとつの手段として、組合員に向けて「安心・安全な野菜を作っているよ！」とアピールすることはもちろんですが、インスタグラムを見た若者が農業に興味を持つてくれればという願いも持っています。菜食ファームのどの生産者でも簡単に投稿できるようにする予定です。

山路 畑からの便り、楽しみにしています。

関西6生協青果統一政策 に向けた課題

山路 関西6生協の青果政策で、セット野菜も取り組みを統一させていきます。規格統一に伴う変更で、現在のセット野菜の登録人数を

下げることがないよう、私たちは活動を通じて組合員に理解を求めていく必要があります。生産現場でも、準備を始めていることはあります。

今野 生産の維持・拡大のため、若手生産者の育成や新しい栽培方法の実験などもしています。例えば、植物ホルモンを使わなくても作れるトマトの品種があり、試しに作ってみました。が美味しくなかった。ので作るのをやめました。代わりにハウスに蜂を早めに導入するなどの試みを始めています。

エスコープ大阪の組合員がこれまで食べてきた野菜をこれから大切にしたいと考えていますが、6生協統一のセット野菜が実際に形となった時に、エスコープ大阪の組合員に受け入れられるか、生産者として期待もあり、不安もあります。

山路 少量多品目を目指しつつ、栽培基準や気候危機に耐えられる野菜作りなど、これまで菜食ファームの生産者と私達組合員は話し合いながら『旬菜セット』を作ってきました。関西6生協統一後も話し合いながらすすめる姿勢は変わりません。今年度の取り組みで地場野菜の意義を再確認し、菜食ファームに仲間入りした若手生産者が農業を生業としていけるよう、旬菜セットの取り組みを理解して食べていく仲間を増やしていきたいと思っています。

持続可能な農業を地元生産者とめざします



作付け会議(2022年12月・エスコープ大阪本部)

持続可能な農業とはどういうものなのでしょうか。単に農薬や化学肥料を使用しなければ持続可能といえるのでしょうか。農業を続けるためには生産者の減少をくいとめる地域活性化や収益力強化に向けての支援も必要となります。しかし、エスコープ大阪で一番大事にしているのは、生産と消費を分断させないことです。生産者と消費者がつくるエスコープ大阪独自材の『旬菜セット』の取り組みについてお伝えします。

『旬菜セット』の 作付け会議・反省会

私たちが食べている地場野菜の生産者「菜食ファーム」は地元堺市、和泉市、河内長野市の6名が加入しています。減・無農薬、有機肥料の栽培基準を定め、環境に配慮した農業をおこなっています。最近では若い後継者や新規就農者が加わり、農業を続けていく力も育ってきています。

『旬菜セット』の作付け会議・反省会(写真)を、生協本部において、菜食ファームの生産者と、エスコープ大阪(消費担当理事と職員)が出席し、約束数量やセットの内容等を話し合っており決めています。また『旬菜セット』の実績報告と反省、クレームの状況と対策、野菜作付け量の確認、品目の追加や中止なども協議しています。

このように、組合員の代表である理事が出席して直接、生産者と食べる約束・つくる約束をする取り組みは今では貴重なものとなっています。

近年の気候危機や病害虫被害による供給量確保の難しさや栽培の工夫など活発な議論を交わしています。生産者が安心して農業を続けるためには、組合員が食べる約束として『旬菜セット』の登録数を増やす必要があります。現在1500セット弱で目標の2000セットにはまだまだ届いていません。登録していない組合員に、地場で育った独自の栽培基準に沿って作られた旬の新鮮なおいしい野菜をおすすめしていきます。

地場野菜政策のこれまでの取り組み

★地域チャレンジ野菜

2020年度、地域ごとに組合員自らが直接野菜の生産から消費まで責任を持つ経験をしました。組合員が『旬菜セット』に入れたい野菜を作付けできるか生産者と話し合い、栽培方法や価格を決め、供給にまで関わることで野菜の共同購入のしくみを知る機会になりました。取り組み終了後、「スイスチャード」(泉北ニュータウン地域)、「スティックセニョール」(河内長野・大阪狭山地域)、「さつまいも」(大阪市南・中河内地域)は『旬菜セット』の品目になりました。



スイスチャード

スティックセニョール

★ピーク時トマト登録

2020年度より気候により出荷の集中が避けられないトマトは、ピーク出荷時に『旬菜セット』の供給を上回る場合があるため「ピーク時トマト登録(1セット1kg)」を実施しています。食べる約束の契約数量の全量の消費するためのしくみです。

ピーク時トマト登録数

年度	2020年	2021年	2022年	2023年
セット数	533	706	784	目標800

※2022年度のお届け回数は3〜5回でした。
※2023年度の登録申し込みは終了しました。

月曜日から金曜日の登録組合員にお届けするために、生産者は日曜日から木曜日に収穫して納品しますが、野菜は金曜日も土曜日も育ちます。この野菜を「週末余剰野菜」と呼んでいます。また、2019年度よりお盆に配達をお休みするようになり、その期間にできた野菜も生産者が生協以外で販売するなどして調整しています。

2023年度は全地域委員会、週末余剰野菜に取り組みます。地域委員会が生産者と品目や時期を話し合い、収穫祭や即売など独自の企画を考えます。

組合員が直接野菜の生育状況や農作業の様子を見て『旬菜セット』の取り組みを知ること、生産から消費までがよくわかるいい機会にもなります。ぜひ、「地域ニュース」を見て『週末余剰野菜』の企画に参加してください。



畑訪問 泉州地域のチャレンジ野菜(パプリカ)

『旬菜セット』を登録しよう

申し込み方法は簡単!!
配達担当者もしくは、直接電話(072-293-4660)で。

OCR注文書やインターネットでの申し込みはできません。

●『旬菜セット』とは

菜食ファームが地場で栽培した旬で新鮮なおいしい野菜です。
生産者(菜食ファーム)と食べる約束をした定期予約の取り組みです。
登録すると毎週届きます(ミニセットは隔週配達も選べます)。

●栽培基準

栽培期間中農薬不使用または「大阪府エコ農産物」基準の1/2以下の減農薬、有機肥料で栽培しています。「(有)石井養豚センター」の堆肥も使用。

ファミリーセット

7〜9品目ぐらい
4〜5人家族が1週間で食べ切れる量。

価格 1500円前後

ミニセット

3〜5品目ぐらい
少人数の家庭に。初心者におすすめ

価格 1000円前後

「第17回 GMOフリーゾーン運動全国交流集会 in 東京」参加報告

3月25日(土)
13:30~16:30
オンライン

環境委員長 芝本 美紀

遺伝子組み換えもゲノム編集もない世界をつくろう

エスコープ大阪からは、環境担当理事3名がオンラインで参加しました。まず「遺伝子組み換えいらないキャンペーン」代表の天笠啓祐さんから遺伝子組み換え・ゲノム編集食品の現状について報告がありました。

ゲノム編集技術については、米国「カリクスト社」が高オレイン酸大豆の種子や食用油を販売していました。また、昨年9月に経営破綻となり、現在、ゲノム編集食品が生産されているのは、日本だけということを知りました。ゲノム編集トマト「シシリアンルージュハイキャバ」を開発・販売する企業「その苗を福祉施設・小学校などへの無償配布する」との情報を受け、ゲノム編集トマト受け取り拒否を求める取り組みをおこなった生活クラブ連合会を含め

た8団体の報告がありました。パネルディスカッションでは、有機農業に取り組みGMOフリーゾーン宣言をされているまたは、これから宣言する予定の5名の農家の方が登壇し、「農業を通じて食の安心安全を日々考え、次世代も安心して食べられるものを残していきたい、そして自分たちが住んでいる地域の農業やコミュニティ、日本の農業を守りたい」という強い思いを聞くことができました。

魚では、鯛やフグのゲノム編集技術による巨大化養殖が承認され、そのフグを京都府宮津市がふるさと納税の返礼品としており、その削除と海上養殖の反対を求める署名を「宮津 麦のね宙ふねつとワーク」が呼びかけているという報告もありました。

これからも、遺伝子組み換えやゲノム編集技術について反対運動を継続するとともに、情報をキャッチし、組合員に知らせていきたいと思っています。

消費コミュニティ(カット野菜工場見学)

2月6日(月)
株オルト
(和歌山県紀の川市)

泉北ニュータウン地域理事
真柄 恭子

カット野菜が欲しい！
そのカット野菜の工場へ行ってきました



昨年の6月から始まった消費コミュニティで牛乳のことやカレー粉などを調べていましたが、最近よくスーパーで目にするカット野菜の話になり、いくらかうで売られているのか調べました。小さいお子さんがいる家庭や、高齢者の家庭ではキャベツや白菜を丸ごと買っても使いきれなくて捨ててしまうという話も聞きます。そのため買い控えをし、あまり野菜を食べなくなると栄養的にもよくありません。

「カット野菜はエスコープ大阪で扱っていないので、ぜひ扱ってほしい」「市販のカット野菜の野菜はどういう栽培をされているのか、わからなくて不安だから、栽培方法がわかる生活クラブの野菜でカットしてほしい」ということで取り扱いを提案することになりました。

実際にカット野菜を作っている王隠堂農園グループの会社が奈良県にあるということ

とで、事務局と2人で見に行きました。(株)オルト社長の王隠堂正悟哉さんが消費コミュニティで上がった疑問にひとつひとつ答えてくださいました。加工場も一緒に見て回り、加工場に入る前に何度も消毒やほりを取り、髪の毛や眉毛などにも気を配り、完璧な服装と手袋で作業していることも確認できました。150人の作業員で一日に7万パック作られているということでした。

なぜ、カット野菜を始めようと思ったのか、その理由にとっても感動しました。「野菜はどうしても企画から外れるものができる。規格外がたくさんできるとその生産者の生活が脅かされるので、できた野菜ではなく畑の大きさを約束の仕入れ額を決めて農業生産者を守りたい」と話されていました。

泉北ニュータウン地域からカット野菜取り組みを理事会に提案し、今後、関西運営委員会で協議されます。カット野菜は毎年売り上げが伸びているそうです。使いやすいカット野菜がカタログに載る日がくればいいなと思っています。

泉州地域

味噌作り

3月11日(土)
和泉市北部リージョン
センター(和泉市)

泉州地域理事 岡澤 久子

お味噌を作ったよ、みんなで楽しく



作ります。慣れた人はミンサーで次々と蒸し大豆をつぶしていきます。子どもたちは楽しくそのうに袋の上から、または手で直接大豆をつぶしていました。

家族総出で来られていた方たちは、担当が毎回決まっ

イで、短時間で作り上げています。味噌作りが初めてで心配そうに電話で聞いていた人も、ベランの人に作り方だけでなく、いろいろなことを聞き、味噌のでき上がる頃を楽しみに帰られました。

参加された地域委員の姫野さんからは、「私は、味噌を作るのは2回目ですが、エスコープ大阪での手作り味噌は初めてでした。驚いたのが、クオリティの高さとお値段です。安心安全な大豆、麹、お塩。家で作っても、会場で作っても料金は同じという優しさ。私は親子でエスコープ大阪での友だちや仲間と参加しました。人生の

「おおぜいの私」がつくるエスコープ大阪

vol.13 『協同組合の主体は組合員』

生活協同組合であるエスコープ大阪の組織運営について、隔月で連載します。

●運営事業成立に大切な理事と地域委員

協同組合は、組合員の運営による民主的な組織で、組合員はその政策決定、意思決定に積極的に参加します。他人任せにせず「積極的に参加する組合員」が存在してはじめて協同組合が成立・実現します。理事の人数が定款で定めている定数を満たしていないと、生協運営・活動事業を大阪府より止められてしまいます。

組合員の意思決定の最高機関である総代会で、組合員の代表である総代が、地域委員会設置の地域区役員推薦委員会より推薦された組合員＝理事候補者を理事に選任することを決定します。地域理事は全体区理事と共に理事会を構成し、総代会で総代が決定した年度方針の執行責任をもってすすめていきます。

一方、地域委員会活動の主体者である「地域委員」は、

地域委員会の定例会議にて登録決定されます。組合員が総代や理事になるには、組織や活動についての理解を必要とします。充実した地域の組合員活動があり、地域委員の登場があってこそ、健全な総代会や理事会が運営されます。

●はじめはわからなくて当然

2021年度に理事誕生につながる地域委員がとてま少なくなり、2022年度は活動する仲間づくりを全地域委員会で取り組みました。そして新たに約10名の地域委員が誕生しました。運営と活動の継承をすすめるため、毎年4月、10月、2月(必要に応じて6月)に理事会が研修を実施しています。今年も4月22日(土)に理事・委員研修を実施しました。

生協は暮らしや社会の課題解決のために存在します。



研修ではグループ毎に「解決したいこと」を出し合い、「解決するにはエスコープ大阪はどうしたらいいか」を話し合いました。ここで、「エスコープ大阪とは誰か」と理事長が問いかけます。エスコープ大阪は組合員の組織です。今度は主語を「私」・「私たち」に変えて考えました。感想共有では新しい地域委員から、「主体となって活動をすすめるとはどういうことなのか少しわかった」という感想がありました。「よくわからない」のは「経験していない」ため当然とも言えます。経験してこそわかるもの。おおぜいの組合員に理事・委員を経験してもらいたいと思います。



第10回 理事会報告 <4月5日>

※前号で掲載の内容は2月度の決算報告でした。1月度決算報告は以下の通りです。

【1月度決算報告】

- 供給高 2億4,754万円(前年同月比99.2%)
- 組合員数 19,019名(前月比△54名)
- 一人当たりの出資金 89,264円

【2月度決算報告】

- 供給高 2億1,931万円(前年同月比100.3%)
- 組合員数 18,937名(前月比△83名)
- 一人当たりの出資金 89,641円

【3月の放射能検査結果】

3月は連合消費材744検体の放射能検査を実施しました。エスコープ大阪供給分で生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

【決議事項】

- ①大阪府生協連合会理事候補者の選出について
- ②南河内地域の理事定数と理事推薦委員の変更について
- ③理事会議事録作成規程の変更について

【協議事項】

- ①各地域の担い手づくり活動(エスチャンネル・コミュニティ)のまとめ
- ②2023年度総代会議案書の提案・意見集約について
- ③「エスコープ大阪まつり」のすすめ方
- ④針江親子企画
- ⑤「ケア・ピース」訪問介護事業廃止について
- ⑥泉北ニュータウン地域 カット野菜の提案

【報告承認事項】

- ①河内長野・大阪狭山地域「みんなの畑」開始について
- ②地域準備会の地域委員承認
- ③2023年度「菜食ファーム」の『ピーク時トマト』取り組みについて

編集後記

先日、長野県のりんご生産地に行ってきました。今年は温かくなるのが早かったため、りんごの花が例年より2週間ほど早く咲き始めたそうです。花が咲いた後に霜が降りるとうまく実にならないので、心配されていました。

今年度からりんごも「よやく・る」として生活クラブ関西6生協と一緒に取り組んでいきます。6月には各地域で学習会や電話での呼びかけがあるので、新たな取り組みについて話を聞いてくださいね。(Y)

発行:生活協同組合エスコープ大阪 制作:W.Co パックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪

〒590-0151 堺市南区小代727

TEL.072-293-4660 FAX.072-341-0022

<https://s-osaka.seikatsuclub.coop/>



次世代生産者紹介

いっしょに創る未来



奈良県五條市 有限会社 王隠堂農園

取締役 王隠堂 正悟哉さん

私たちは、以前から生産者と組合員が直接顔を合わせて議論し、一緒に消費材を作り、運動をすすめてきましたが、生協設立から50年以上経ち、世代変わりしている生産者も増えてきました。そこで、このコーナーでは次世代の生産者や「近畿親生会」の生産者に登場していただき、抱負などを語っていただきます。

地域が廃れると、農業も廃れる 地域を何とかしたい

「(有)王隠堂農園」は、父が45年前に立ち上げた生産者グループです。当時は

農業を使ったきれいなピカピカの野菜や果物が大量に作られていました。

ある時、農業が原因で祖母が体調を崩したことをきっかけに、父は有機農業を始めました。当時の農協は有機農

産物の取扱いが無く、自らトラックに収穫物を載せて泉北ニュータウンに引

き売りに来た時に当時の泉北生協(現エスコープ大阪)と出会い産直提携が

始まりました。今でも当時と変わらず柿や梅、干し柿や梅干し等の

加工品を主力に生産しています。

私は家業を継ぐのが当たり前前と

思っていたので、学生時代は好きなことをやろうと、

大学では物理学を学んでいました。今年、息子が6歳にな

ります。彼が家業を継いでくれるかはわかりませんが、大

人になったときに帰る故郷を残してあげるのが私の仕事だと思っています。

しかし、「(有)王隠堂農園」のある五條市は人口が減り、超過疎地域になっ

てしまおうとわれています。でも何とかして地域を残していきたい、そのため

に地域方々と共にいろいろな取り組みをしています。

地域が廃れると、農業も廃れてしま

います。「王隠堂農園だけが良ければいい」ではなく、地域全体が良くならな

ければいけません。過疎化や気候変動など抱えている課題は同じなので、王隠

堂農園グループの農家だけでなく近隣の農家とも垣根なく、ゆるやかな連携

を作り、一緒に課題を解決していこうとしています。まずは、地域に人を呼

ぶために、王隠堂農園グループが運営しているレストランやアウトドア施設

を中心に、地域にあるカフェや直売所、地元のお寺、林業や酒蔵とも連携し、訪

れた人に地域の魅力を発信し、地域全

体のファンを増やす活動をしています。

グループでは地元を中心に全国の生

産者と連携したカット野菜工場もやっています。一般スーパー向けに販売し

ていますが、スーパー側の都合で突然取引がなくなることもあります。それ

では安定した生産を続けていくことができません。安定した消費があって初

めて安定した生産につながり、農家の暮らしを安定させます。その継続が可

能なのは、生協との提携関係だと改めて理解できました。父が45年以上続け

てきた産直提携を継続することが地域を未来に継続できる形だと信じ、生協

とはこれからもいっしょに継続性のある関係性を作っていきたいと思っています。

組合員の方たちとの直接の交流をど

んどんして、王隠堂農園や奈良県五條市のファンを増やし、地域全体での産

直提携を目指しますので、ぜひ産地に遊びに来てください。オンライン交流

も大歓迎です。Zoomだと赤ちゃんを抱っこしながら参加してもらえると

がいいですね。

おたよりネット



「りっぷる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

242号表紙「『行く場所』を作り、生きがいを持って暮らせる地域に」を読ん

紙面モニターTさん

子どもの頃のこと、同居していた祖母のところに平日の午後は毎日数人のお年寄りがやってきて、ひとしきりおしゃべりして帰って行った光景を思い出しました。日

中、ショッピングモールや駅前で所在なさに座っているお年寄りの姿を見る度に、そういう方のための場所づくりが必要だと痛感します。

キリトリ

Ripple おたよりネット

(ペンネームOK)

●地域名

●お名前

●組合員コード

●班名

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメモで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

理事会事務局行き
244号(2023.5.29)